

競技注意事項

1. 競技規則について

本大会は、2026年公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会要項及び競技注意事項、申し合わせ事項によって実施する。

2. 練習について

練習は係員の指示により実施する。

- (1) 朝の本トラックでの練習は、行わない。
- (2) 投てき練習については、監督・コーチの付き添いのもと、投てき練習場で安全に留意して行う。

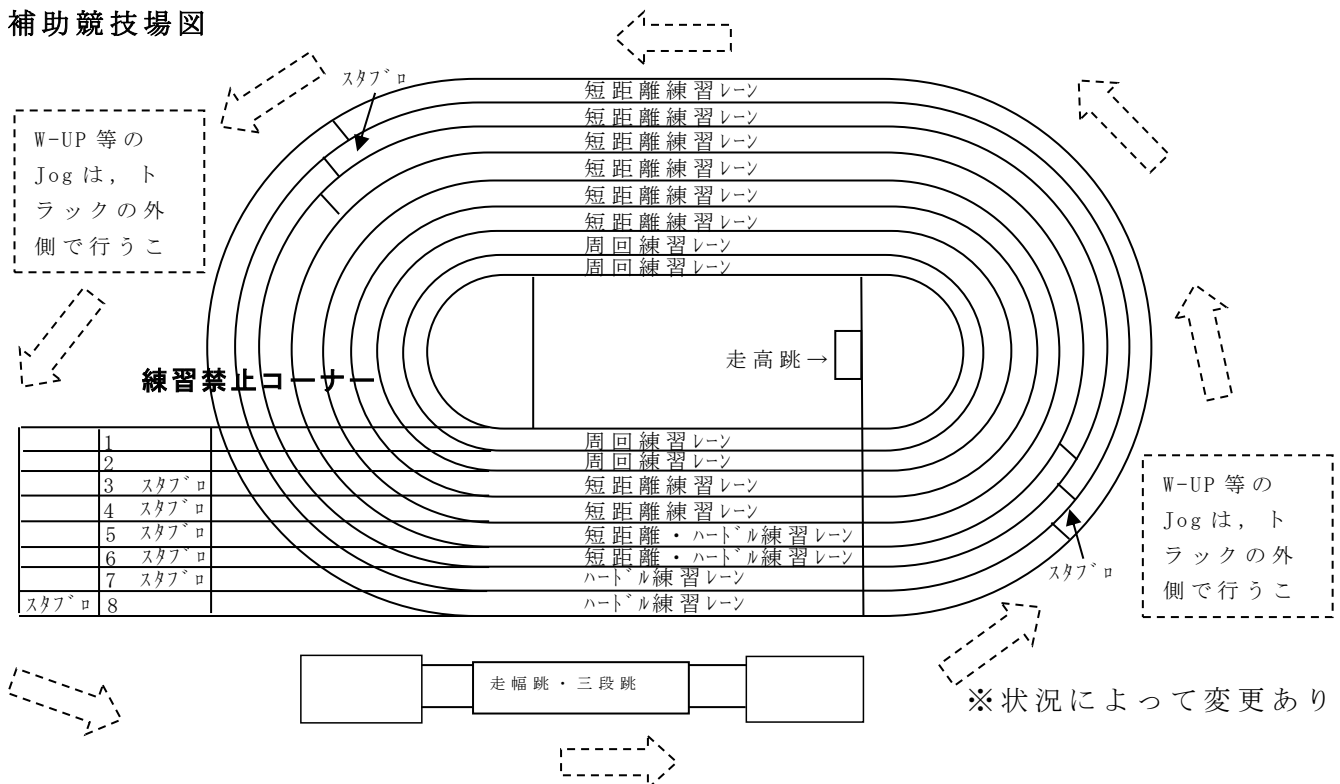
※男女ジャベリックスロー、男子砲丸投げの投てき場での練習は10時半以降とする。

- (3) 室内走路での練習は、Jog, ドリル, ストレッチのみ可とする。
棒高跳の競技前のW-UPとして招集完了時刻まで開放する。
荒天時については別途指示する。
競技場側室内走路での、走幅跳び・三段跳びの競技中における調整練習は認める
- (4) 補助競技場における「レーン」の使用区分及び注意事項について
 - ア) 周回1・2レーンは中・長距離関係。
 - イ) ホームストレート3・4・5・6レーンは短距離関係。
 - ウ) ホームストレート7・8レーンはハードル関係。(時間帯により6レーンも)
 - エ) 1・2コーナーからバックストレート、及び3コーナーにかけての3・4・5・6・7・8レーンは短距離関係

注意>

- 1) JOG, 体操等はレーン外及びフィールド内とする。
- 2) レーン内及び芝生でのミニハードル等用具の使用を禁止する。
- 3) レーンの逆走は禁止する。
- 4) レーン内の歩行はできるだけさけ、立ち止まらない。
- 5) レーンを横断する際は、左右を確認し駆け足を原則とする。
- 6) 第4コーナーからホームストレートへの交点付近は、練習禁止。

補助競技場図



3. 招集及び入退場について

招集所は第1ゲート外側（100mスタート付近）に設置する。

- (1) 招集時刻は競技開始時刻を基準として下記の通りとする。
トラック競技は20分前を招集完了とする。ただし、組数の多い予選種目は時間差を設けて招集を行う。詳しくはプログラムの競技日程で確認すること。
フィールド競技は45分前を招集完了とする。ただし、砲丸投げは30分前招集完了とし、棒高跳びは45分前に現地集合とする。
- (2) 招集手順
 - ① 招集開始時刻から完了時刻までの間に招集所で、競技役員にアスリートビブス、競技用シューズ、衣類及び競技場内への持ち込み物品等の確認を受ける。携帯電話や通信機器（通信機能のあるスマートウォッチ等は通信機能を切断すること）、および音楽再生機器等は持ち込めない。(TR6.3.2) 代理人による最終点呼は認めない。(1000mは、腰No標識を受け取る。)
 - ② 最終点呼後、競技役員の誘導でスタート地点（フィールド競技はピット）に移動する。
- (3) 招集の注意事項
 - ① 出場すべき競技種目を欠場する場合は、招集完了時刻前までに招集所の競技者係に欠場届けを提出する。
 - ② 招集時刻に遅れたり競技者係からのチェックを受けなかった場合、競技者は欠場したものとして処理される。
- (4) 入退場は係員の指示に従う。競技が終了した競技者は、バックスタンド側ダグアウトを通り、全て第4ゲートより退場する。

4. アスリートビブスについて

各競技者は、プログラムに記載された番号と同じ番号のアスリートビブス（縦16cm×横24cm以内）を、ユニフォームの胸部と背部につける。男子は黒字、女子は赤字とする。

- (1) 跳躍競技に出場する競技者は胸部または背部どちらか片方でもよい。
- (2) 1000mの競技に出場する競技者はシールタイプの腰ナンバー標識をパンツの右側後方につける。腰ナンバー標識は招集所で配布し、回収はしない。

5. 競技運営について

本大会は下記の主な留意事項に基づいて運営する。

- (1) 競技運営上、競技日程及びピットを変更することがある。また、地震・雷雨等の自然災害やJアラート発動の際は、競技を中断し安全が確認された後に再開する。
- (2) トラック及びフィールド内にはその競技を行う競技者並びに役員（審判および該当補助員）以外は立ち入ることはできない。フィールド競技はコーチングエリアを設ける。競技者とコーチがコミュニケーションをとる場合のみとし、エリア内に常駐しないこと。
- (3) 競技者がカセットレコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内に持ちこんだり使用したりすることはできない。(TR6.3.2)
- (4) トラック競技の着順及び計時は原則として写真判定で行う。
- (5) タイムにより次のラウンドの出場者を決める場合、写真判定主任が同記録者の写真を拡大して0.001秒単位の時間を判定して進出者を決める。それでも決められない場合は当該競技者の抽選とする。(TR21.5)
- (6) セパレートレーンで行うトラック競技では、競技者は安全確保のためフィニッシュライン通過後も自分の割り当てられたレーン（曲走路）を走り、他の競技者の妨害をしない。
- (7) 男女150mは予選レースの結果、上位8名が決勝に進出する。1000mはグループスタートで行う。
- (8) フィールド競技における競技場内での練習は審判員の指示により行う。
- (9) 走幅跳、棒高跳、三段跳、ジャベリックスローに出場する競技者は助走路の外側に主催者の準備したマーカーを2個までおくことができる。

- (10) 三段跳び・円盤投げ・ジャベリックスローは3回の試技後、トップエイトで3回の試技を行う。走り幅跳び・砲丸投げは3回の試技のみ。走り高跳び・棒高跳びはその限りではない。
- (11) 三段跳びの踏切版は男子10m(9mもしくは11mの場合あり)、女子8mとする。
- (12) 棒高跳びに出場する競技者は支柱を自分の希望する位置に移動してもよい。
- (13) 各レースで不正スタートは、一度の不正スタートでも責任を有する競技者は失格とする。スタートの合図については英語で行う。
※スタート時の不適切行為に関しては審判長によって警告「イエローカード」を与えられることがある。2枚の「イエローカード」の提示を受けた競技者には「レッドカード」が提示され、当該種目のみを失格とする。ただし、競技会からは除外しない。(TR16.7,TR16.8,TR39.8.3)
- (14) 競技結果(記録)は、Webサイトから確認すること。なお、次ラウンドへの進出者一覧は、正面玄関前と招集所付近に掲示予定。

6. 走高跳、棒高跳決勝におけるバーの上げ方について

種 目	性別	競 技	練 習
走高跳	男	1m30-35-40-45-50-55-60-65-70-75-80-85 以後 3 cm きざみ	1m25 1m50
	女	1m15-20-25-30-35-40 以後 5 cm きざみ	1m10 1m35
棒高跳	男	2m10-20-30-40-50 以後 1 0 cm きざみ	2m00 3m00
	女	1m60-70-80-90-2m00 以後 1 0 cm きざみ	1m50 2m50

- (1) 天候その他の関係で変更することがある。
- (2) 第1位を決めるためのバーの上げ下げは、走高跳で2cm、棒高跳で5cm刻みとする。
- (3) 走高跳、棒高跳の練習の高さは、希望により2段階で行う。

7. 競技用シューズの規定について

- (1) WA承認リストにあるシューズを使用していることを前提に招集所にてソールの厚さチェックは不要となる。ただし、審判や審判長の権限により求められた場合はチェックする。TR5.13.3(国内TR5.2)承認リストにない場合は事前申請が必要であるが、本大会では事前申請は不要。
- (2) 本競技場におけるスパイクピンの数は11本以内とする。また、スパイクピンの長さは9mm以内とする。ただし、走高跳については12mm以内とし先端の直径は4mm以内でなければならない。(TR5.3,TR5.4,TR5.5,TR5.6)
 ※ニードルピン使用可。
- (3) 砲丸投および円盤投に関しては、シューズの確認を行わない。

8. 抗議 について (TR8)

- (1) 競技の結果または行為に関する抗議は、その種目の正式発表後30分以内に監督が直接審判長に口頭で申し出なければならない。
- (2) 次のラウンドが行われる競技種目ではその結果が正式に通告されてから15分以内に申し出なければならない。
- (3) 裁定に不服の場合は委託金(1万円)を添え、総務員を通じてジュリーに文書で申し出る。なお、ジュリーの裁定が最終決定となる。

9. 表彰について

表彰はU16都道府県代表枠種目の3位まで行う。競技終了後速やかに室内走路本部前に集合すること。

- (1) 男女: 150m, 1000m, ジャベリックスロー
- (2) 男子: 110mH(0.991m/9.14m) 女子: 100mH(0.762m/8.50m)

※該当選手が揃い次第，３Ｆコンコース入り口前で表彰を行います。

10, U 1 6 全国大会出場資格を得た選手について

本大会までで，標準記録を突破，もしくは都道府県代表U 1 6 種目で１位となり，U 1 6 全国大会の出場資格を得た選手は，競技終了後，室内走路本部（強化委員会席）に申し込み代表者ととともに集合すること。手続きがあります。

11, その他

（１）救護本部は，スタジアム１階の医務室に設置する。応急処置は行うが，以後の責任は負わない。

（２）商標について

商標などの規定については，「競技会における広告及び展示物に関する規定」を遵守すること。これに違反した場合は，主催者で処理する。

※競技者は，招集を受ける前にテープなどで対応しておく。また，競技役員に指摘された場合はその指示に従う。

（３）応援・観戦について

①声を出しての応援時は，マスク着用を推奨する。

②競技の進行の妨げにならないよう注意すること。また，通路での応援・観戦は禁止とする。

（４）応援横幕・のぼり旗の設置について

バックスタンド・サイドスタンドの中段通路より上部の手すりのみ可とする。

（５）迷惑撮影防止対策について

迷惑撮影防止対策についてアスリートの盗撮，写真・動画の悪用，悪質なSNS投稿は卑劣な行為であり，本競技会において，以下の項目を設けることとする。

・不審な行動を目撃した場合には，速やかに競技役員に知らせる。

・撮影を行う場合は，各所属から発行された「撮影許可証」を首から下げること。

・撮影可能エリアはメインスタンド観客席中段通路より上の指定された部分のみとする。

・撮影禁止エリアでは，スマートフォン・タブレット端末を含め撮影機器は，使用禁止とする。

・一眼レフカメラ，望遠レンズの使用を制限する。

・主催者及び競技者の承諾を得ずに，撮影した画像・動画をWeb 上（SNS 等含む）にアップロードしたりする事は控えること。放映権及び肖像権の侵害となる場合がある。

【例外事項】

・主催者の許可を受けて専用ビブスを着用した者は，競技場内での撮影許可領域での撮影を許可する。

・監督・コーチによるコーチングエリアからの撮影。

・生徒がスタンドから自チームの競技者を撮影する場合は，撮影許可証を携行し撮影する。

（６）室内走路及びグリーンエリアに敷物を利用し，場所を確保して待機場所として利用することを禁止する。

（７）各校の待機場所として３階コンコースを利用し，シートを固定したり壁に物を貼ったりする時は，粘着力の弱いテープ等で貼り付ける（ガムテープの使用は厳禁とする）譲り合って使用し，荷物は毎日撤去すること。

（８）ゴミは原則として各校で持ち帰ること。

（９）置き引き，盗難等の発生する恐れがあるので各自持ち物や貴重品の管理に十分注意する。

（１０）本部は競技運営室６に設置する。不明な点は，大会本部に問い合わせること。